

### (3) 主な地域の遺骨帰還の現状

地域	戦没者概数 (人)	遺骨帰還 概数(柱)	未帰還遺骨 概数(柱)	現状
フィリピン	518,000	148,520	369,480	平成18年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体等へ委託。 平成22年10月、疑惑が報じられたことから遺骨帰還事業を中断し、当該事業の検証を実施。 事業再開にあたってのフィリピン政府との覚書締結に向けた協議中。 海没遺骨は77,620柱。
東部ニューギニア	127,600	50,610	76,990	平成18年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体等へ委託。 海没遺骨はビスマーク・ソロモン諸島とあわせ27,810柱。
ビスマーク・ソロモン諸島	118,700	57,050	61,650	平成19年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体等へ委託。 海没遺骨は東部ニューギニアとあわせ27,810柱。
インドネシア (西イラン含む)	84,400	44,120	40,280	平成22年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体等へ委託。 遺骨帰還実施についてのインドネシア政府との覚書締結に向けた協議中。 海没遺骨は13,000柱。
パラオ諸島	16,200	8,830	7,370	平成21年11月、両国当局間で署名した遺骨帰還に関する覚書に基づき実施。
沖縄	186,500	186,790	—	地表面は沖縄県が、重機を伴う大規模な遺骨帰還は国という分担で実施。
硫黄島	21,900	10,150	11,750	滑走路等施設用地以外について、收容場所を計画的に区分し、地表面の踏査及び筋堀により きめ細やかに調査し、国において実施中。 平成25年3月21日「硫黄島からの遺骨帰還推進に関する関係省庁会議」設置。
旧ソ連抑留者 (モンゴル含む)	54,400	20,980	33,420	平成3年の日ソ協定に基づき、ロシア政府より提供された埋葬地情報を踏まえ、実施。 モンゴルでは平成6～11年度まで実施。

※ 中国については、先の大戦に係る中国の国民感情にかんがみ、遺骨帰還の実施は困難。

※ 北朝鮮については、国交未樹立のため、遺骨帰還は未実施。

戦没者概数等は、平成25年8月13日現在